

新入生へのメッセージ

— 教官から・先輩から —

皆さんご入学おめでとうございます。

難関を突破して今日広島大学の一人となられた皆さんを、我々広島大学の構成員一同は心から歓迎いたします。

昨年広島大学は、前後二十三年かかった統合移転をやつと終え、―自由で平和な―一つの大学―という、初代森戸学長の建学理念を真に達成し得る条件の整った、ここ東広島のに、医学部・歯学部を除く九学部が勢ぞろいしました。この日本一広いキャンパスも年々整備され、豊かな自然環境のもと、近代的なすばらしい施設が次々と誕生しています。皆さんはこの恵まれた環境の中で、のびのびと、また大きく羽ばたいてほしいものです。

順調に進級してゆけば、皆さんが卒業する年はちょうど西暦二〇〇〇年です。医学部・歯学部の皆さんは西暦二〇〇〇年を過ぎての卒業になるわけで、文字どおり皆さんは、来たるべき二十一世紀の担い手となるべく広島大学に入学されました。世紀末の今、世界は大きく変わろうとして

います。インターネットや衛星通信などの発達で世界は小さくなるばかりです。しかし、政治、経済、文化の諸領域における諸国間の軋轢、民族、宗教間の対立による抗争や、地球規模での環境破壊等が日々進行しています。この混乱した時代に、平和を求め地球人としての意識と果敢な行動力を持った人材が、広く求められています。

二十一世紀の担い手となるべき新入生諸君へ

広島大学長 原田康夫

広島大学はこのような時代に、統合移転を契機として、新しい理念のもとに、二十一世紀を担う人材を育てようとしています。すなわち、平和を希求する精神の涵養、新たな知の創造、豊かな人間性を培う教育、地域社会・国際社会との共存、絶えざる自己変革、といった目標であります。皆さんがこれまでの受験競争から解放され、真に自らを問うことができるのが、こ

れから始まる大学生活です。知的好奇心をフルに発揮しながら、楽しく学ぶ技術を身につけ、本当に人のため、世のため、地球のために役に立つ人になってほしいものです。大学では多くの人との出会いがあります。皆さんは青春の一時によき師を求め、よき友にめぐり合い、交わり、創造的な知識を身に着けて、自らを高め、高い志のもとに、目



標のある生活をしなければなりません。
広島大学ではアジアを含む

世界五十数か国から多くの留学生が集まって、熱心に学んでいます。二十一世紀はアジアの時代だといわれているだけに、皆さんはこうした留学生諸君との交わりの中で、広い視野と世界観とを持つていただきたいと思っています。やがては広島大学から、アジアの発展のために働く多くの人材が育つものと期待しています。

また皆さんが卒業するまでには、今よりもっと充実した大学院研究科が揃うことになっていきます。多くのセンター類や国際協力研究科のような特色ある独立研究科も広島大学にはあり、アジア及び世界の諸国との架け橋となっています。皆さんの人格の形成を助け、皆さんの一人ひとりが持っている創造性や知的好奇心を満足させる手助けをすべき教職員も、この大学には十分に揃っています。

どうかこれからの大学生活を有意義に過ごし、生涯にわたる自らの進路を発見されるよう心からお祈りして、私のお祝いの言葉といたします。

(はらだ・やすお)